

マーケットの動き (2020年6月22日～6月26日)

国内リート市場は、前週末比で上昇しました。

新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒や、日銀が実施した買い入れオペ（公開市場操作）を受けて国内の長期金利が低位で推移し、国内リーートの相対的に高い分配金利回りに着目した買いが優勢となったことで、東証リート指数は前週末比で1.5%上昇しました。セクター別では、オフィスセクター、住宅セクター、商業・物流セクターが総じて上昇しました。

投資環境見通し (2020年6月)

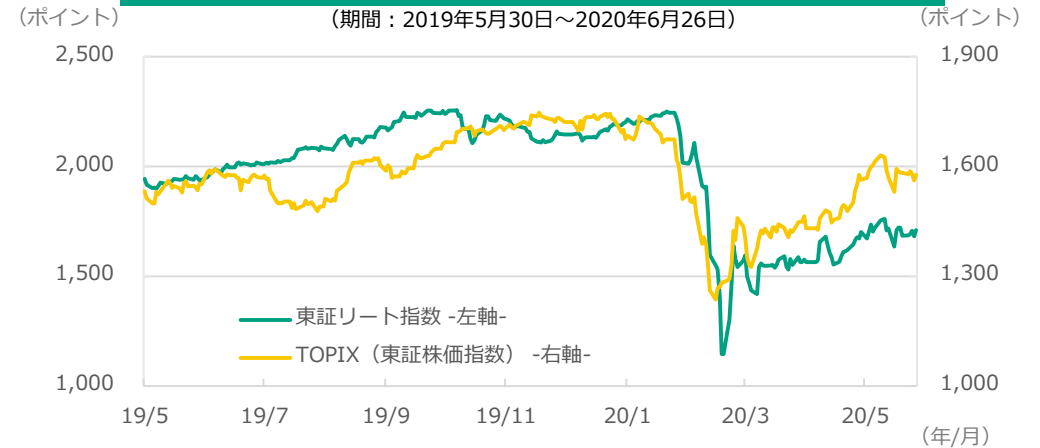
決算内容を確認しながら、回復基調を辿る展開を予想

ホテルリートや商業リートにおける業績悪化の懸念は残りますが、現在の東証リート指数は、大幅な配当減少やクレジット市場の悪化、新型コロナウイルスの影響の長期化を織り込んだ水準にあり、割安感が強いと見ています。政府が閣議決定した第2次補正予算案には、賃料や資金繰りに関する支援策も盛り込まれていることから、業績を確認しながら、徐々に回復基調に戻ると予想しています。

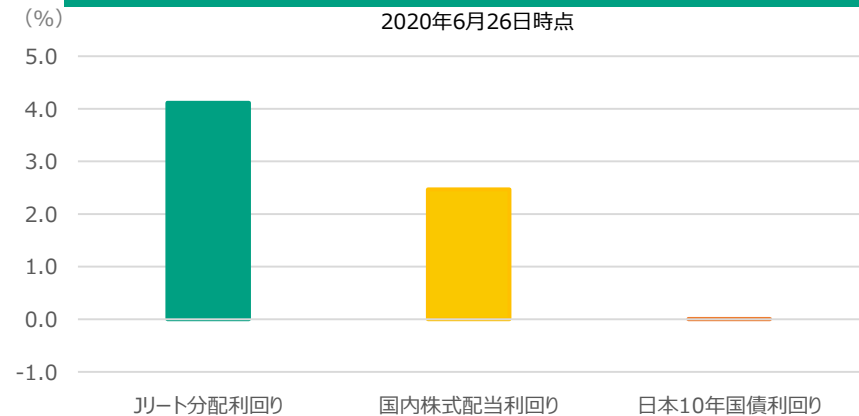
	6月26日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	1,710.36	1.52%	2.74%	▲20.82%	▲12.22%
<ご参考> TOPIX (東証株価指数)	1,577.37	▲0.34%	2.78%	▲8.89%	2.80%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

東証リート指数、TOPIXの推移



国内各種資産利回り



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>